





令和元年12月9日

# 除雪現場の省力化による生産性・安全性向上を目指す プラットフォーム『i-Snow』(第6回)を開催

## ~除雪機械の高度化を目指した産学官民連携の取組~

産官学民が連携して除雪現場の省力化に資する技術開発等に取り組む第6回プラットフォーム「i-Snow」を下記のとおり開催します。

今回は、令和元年度の取組内容などについて、情報共有・意見交換を行います。

近年、北海道内では、異常気象による暴風雪等の冬期災害が頻発する傾向にあり、長時間の通行止めが発生しています。そのため、北海道総合開発計画(平成28年3月閣議決定)が掲げる「強靱で持続可能な国土の形成」の実現に向けた取組を関係者が連携し、より強力に推進していく必要があります。他方、除雪作業に携わるオペレータ等の高齢化が進行するなど、担い手の確保等の課題があることから、さらなる除雪現場の効率化を図ることが求められています。

北海道開発局では、積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組を進めており、その一環として、産学官民の幅広い連携を確保しながら除雪に関する課題の解決を図るためのプラットフォーム「i-Snow」を平成29年3月28日に発足し、これまでに5回のプラットフォームを行っています。

記

日 時: 令和元年12月12日(木)14:00~

場 所: TKP札幌駅カンファレンスセンター3階 3 Cルーム(札幌市北区北7西2-9)

次 第 : 別紙-1参照

その他: 報道関係の方は傍聴可能です。なお、カメラ撮りは冒頭挨拶までとさせていただき

ます。希望される方は、別紙-2の FAX 用紙にて12月11日(水) 15時までに

御連絡ください。

過去のプラットフォームの会議資料等は、以下のURLからご覧いただけます。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat0000010dmm.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表)011-709-2311

事業振興部 機械課 課長補佐 国島 英樹 (内線 5394)

建設部 道路維持課 課長補佐

国品 英間 (内線 5394) s山 博幸 (内線 5383)





# 令和元年度 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 プラットフォーム『i-\$now』〈第6回〉

日時:令和元年12月12日(木)14:00~

場所 : TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3階 3 Cルーム

(札幌市北区北7条西2丁目9)

## 次 第

I. 開 会

Ⅱ. 挨 拶 国土交通省北海道開発局 建設部長 平野 令緒

Ⅲ. 関係機関の取組状況について

1. 今冬の実証実験計画

(除雪機械の高度化推進グループ)

2. 準天頂衛星受信機の最新動向他

((一社)衛星測位利用推進センター)

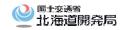
3. ライティング技術、AR技術等の除雪作業の効率化に寄与する技術

(北海道開発局事業振興部技術管理課)

4. その他の情報提供

IV. 総 括

V. 閉 会



# FAX 通信連絡票

北海道開発局 道路維持課 行

(FAX: 011-709-8956)

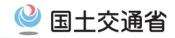
件名:除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 プラットフォーム「i-Snow」(第6回)の傍聴申込み

下表のとおり申し込みます。

会社名(所属)	氏	名	電話番号

※ご記入頂いた個人情報は、本プラットフォームの開催に関する連絡以外では使用しません。

# i-Snow®の取組について





## 「世界の北海道」を目指して

一北海道総合開発計画一

## 【持続可能な道路除雪に向けた取組 ~i-Snow~】

- 第8期北海道総合開発計画(平成28年3月29日閣議決定)がスタート
- •積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組として、除雪現場の省力化に向け、**産学官民が幅広く連携して取り組むプラットフォーム【通称 i-Snow**】を形成



# 機械・機器関係及び除雪関係企業・団体

- 除雪機械の技術動向
- 自動車全般の技術動向
- ・除雪現場へ応用できる機器の技術動向
- 除雪現場の実態、課題



## 有識者、研究機関

- 最新技術及び有効技術動 向、評価
- 学問・研究としての除雪



#### 道路管理者

- 地域、気象、道路構造等に 応じた道路管理方法
- ・最新技術動向を踏まえた除 雪現場の省力化への取組



### 地域住民等

- 地域特件
- ピンポイント・リア ルタイム情報

技術協力、技術開発

現場ニーズ、実証実験協力

技術指導、評価





除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 プラットフォーム

> ※目的や必要性に応じて、「取組グループ」や「コンソーシアム」の形成も可能 (平成31年2月15日 第4回i-Snowにて規約改正)

第1回 i-Snow: 平成29年3月28日

第2回 i-Snow: 平成29年9月29日

第3回 i-Snow: 平成30年3月28日 第4回 i-Snow: 平成31年2月15日

第5回 i-Snow: 令和元年6月26日

第6回 i-Snow: 令和元年12月12日

『産』 (一社) 日本建設機械施工協会、

(一社)建設コンサルタント協会、

アイサンテクノロジー(株)、

(株)NICHIJO、(株)協和機械製作所、

(株)岩崎、(一社)衛星測位利用推進センター『官』

『学』 北海道大学 大学院工学研究院 萩原教授

北海道大学 大学院農学研究院 野口教授

寒地土木研究所

·』 北海道開発局(道路、機械、空港)

北海道、札幌市、NEXCO東日本

## 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する 取組プラットフォーム構成員

#### <有識者>

北海道大学 大学院工学研究院 萩原 亨 教授

北海道大学 大学院農学研究院 野口 伸 教授

#### <行政機関>

国土交通省 北海道開発局

東京航空局 新千歳空港事務所

北海道

札幌市

東日本高速道路株式会社 北海道支社

#### <研究機関>

国立研究開発法人 寒地土木研究所

#### <関係団体等>

- 一般社団法人 日本建設機械施工協会北海道支部
- 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会北海道支部
- 一般財団法人 衛星測位利用推進センター

株式会社 NICHIJO

株式会社 協和機械製作所

株式会社 岩崎

アイサンテクノロジー 株式会社